オーディオ実験室収載

タップリベラメンテとフィルタライザーの活用（2）
—iPhono への適用(2)—

１．はじめに

前報(1)に引き続き、アナログプレーヤーを替えてタップリベラメンテとフィルタライザーの iPhono への適用を実施します。

２．タップリベラメンテとフィルタライザーおよび foQ シートの試聴方法

今回は、LINN LP-12 に装着した、Ortofon Royal N から Ortofon STA-6600L と iPhono 経由のアナログ再生について実施しますが、前報(1)同様、タップリベラメンテとフィルタライザーの効果の確認の前に foQ シートの効果を確認します。

この組み合わせの評価については、iPhono の活用(14)で報告済ですが、タップリベラメンテとフィルタライザーでどのように変わるかが試聴のポイントです。

購入した foQ シートを切り取って、フォノケーブルの端子、トランスと iPhono を接続する LINN の RCA ケーブルの入出力両端子に貼り付けます。

この処理の後、iPhono の電源をタップリベラメンテから取り、AC アダプターの後の DC ケーブルにフィルタライザーを取り付けます。

３．タップリベラメンテとフィルタライザーおよび foQ シートの試聴結果

上記の処置を施さない状態で聴きましたが、パワーリベラメンテその他の対策を施してきていますので、以前とは随分印象が違います。しかしながら、前報(1)の EMT XSD-15 より切れ味はよいものの、少しばかりざらつき感があります。

この状態で foQ シートの対策を施しますと、劇的というほどではありませんが、ざらつき感が減少して音が滑らかになります。

次に、次に、iPhono の電源は、パワーリベラメンテで給電したチクマのタップからとっていますが、タップリベラメンテから取りますと、俄然艶が乗って生き生きとした鳴り方に変ります。

さらに 2 台の iPhono の AC アダプターの DC ケーブルをフィルタライザーに巻きますと、タップリベラメンテの時以上の深みのある生き生きとした鳴り方に変ります。

興味あることは、タップリベラメンテとフィルタライザーを加えていきますと、EMT XSD-15 と Ortofon Royal N の音が似通ってくることです。EMT XSD-15 は艶が乗って厚みのある音がしていますが、少しディテールの描写に物足りないところがあり、Ortofon Royal N はすっきりとして細かい音はしますが、いくぶん素っ気ないところがあります。しかし、タップリベラメンテとフィルタライザーを加えていきますと

EMT XSD-15 はディテールの描写が増すようになり、Ortofon Royal N は艶が乗って EMT XSD-15 に近づいてきます。

４．まとめ

LINN LP-12 に装着した、Otofon Royal N から Otofon STA-6600L と iPhono 経由のアナログ再生におけるタップリベラメンテとフィルタライザー、ならびに foQ シートの効果が確認できました。

以上